



天高く昇る龍の年は運氣もアップ



会長 浅沼正昭

小山田地区の皆様新年おめでとうございます。当地区ではこのように新年のあいさつを交わすことができておりますが、年明け早々石川県能登地方では大規模な地震が発生し、まだその全容は不明ですが、多くの人的・建物被害や各種インフラへの被害が発生しており、被災した方々に心からお見舞いを申し上げます。当地区はこれまでも自然災害が少なく、その面では比較的住みやすい地域だと感じております。昨年までの4年間はコロナ禍により何かと不自由な生活を強いられてきましたが、それもほぼ緩和されてきたと感じてきた一方で、昨年の異常な高温による作物等への影響や、クマ、シカ、イノシシ等の増加や生息域の変化に伴う私たちの生活や農作物への影響が顕著となるなど新たな不安が発生しています。しかしそれ以上に懸念されているのは、当地区に限ったことではありませんが、人口の減少と高齢化に伴い、農業を始めとする多方面での担い手の不足による影響が拡大していることです。明日の小山田を考える会としても、移住・定住等何らかの方策を講じることができないか模索をしているところですが、非常に困難な課題であることは明白です。いずれこの地域を維持していくためにも、小山田地区の皆様がこの1年健康で過ごされますことをお祈り申し上げますとともに、世界各地における戦争や紛争が縮小や収束に向かうことを願いながら年頭のあいさつといたします。

ぬくもりと微笑まじさが伝わるまゆ細工



12月26日に花巻市南川原町の藤原淳子さんを講師にお招きし、まゆの優しさを生かした「まゆ細工教室」を開催し、干支・辰の置き物を作りました。当日は親子や地域の方々21名が参加し、



まゆ独特の温かい手触りで愛嬌のある置き物を完成させました。事前に胴体部分は藤原講師が仕上げてくれていたので、角や牙、ひげなど、まゆで出来た小さなパーツを順番にボンドで貼り付けて行きました。子どもたちは細かい作業で大変だったようですが、講師やお父さんお母さんなどに手伝ってもらいながら、作品作りに夢中になっていました。小さなパーツでしたのでなくしてしまう子どももいて大騒ぎとなった一場面もありました。一番最後に藤原講師から辰の手に水晶の球を付けてもらい置き物が完成しました。また、作業に入る前に干支・辰年の由来や手に持たせた水晶の話があり、参加した親からは「まゆに触れる機会もなかったし、



作品作りだけでなく、色々な話が聞けて有意義な教室でした」との感想をいただきました。

将来の小山田の農業を支える若者たち part 3



11月26日第3回「地域農業担い手育成塾」を開催しました。今回、小山田地域に隣接する矢沢地区の「農事組合法人・胡四王みらい」と平成26年度豊かな村づくり全国表彰で東北農政局長賞を受賞した、太田の「農事組合法人・HHA泉畑」を訪ねて来ました。農)胡四王みらいは、平成6年2月に県内でも数少ない水稻種子生産に取り組んだ「花巻市水稻種子生産組合」が母体で、その後、自主運営による水稻種子乾燥調製施設の建設と合わせて「農事組合法人胡四王みらい」を設立したとの事です。令和4年度の作付面積は7,825aの実績となっているそうです。また、転作作物として南部小麦・ハトムギ・大豆、園芸作物としてミニトマトとピーマンに取り組んだとの事でした。農)HHA泉畑は、地域に住む女性や高齢者を巻き込んだ地域ぐるみの経営を行い、農業所得向上に結び付けているそうです。今後も、地域にとって魅力的な集落営農を展開させていきたいと話されていました。



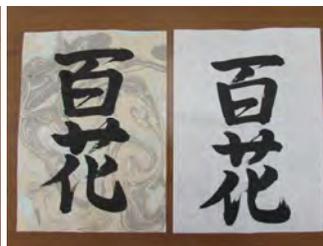
集中力そして精神の鍛錬と修養



今年で3年目を迎える「書道教室・美文字レッスン」を花巻市二枚橋の中島八重子さんに引き続き講師をお願いし11月10日から12月8日まで毎週金曜日計5回



開催しました。今回、特殊な絵の具を水面に数色垂らし、水面で広がったり、混じりあったりしてできたマール模様を半紙や色紙・短冊に写し取り、独自の用紙を作り文字を書きました。また、受講生から半切りの半紙(35×135cm)に書いて



みたいとの要望があり、最終日の12月8日に希望者が挑戦。皆さん筆を滑らかに走らせ見事な筆さばきで書き上げました。

急な入院の時に役立ててください



今年度も、生活環境福祉部では民生児童委員を中心に、ひとり暮らしの高齢者や高齢者だけのご家庭に、急な入院の時に困らないようにと自宅を訪問し入院セットを手渡しました。受取った方から「ひとり暮らしで何かと心配事が多いです。これからも皆さんに支えられながら頑張ります」と感謝の言葉をいただきました。



花をあしらった、お正月用リースづくり



12月19日、南成島の佐野静子さんを講師にお招きし、第4弾フラワー講座「正月リースづくり」を7名が参加し開催しました。佐野さんのご配慮により琴の



音色を聴きながら、受講生は新しい年を迎えるにあたり、思い思いに工夫をこらし仕上げていました。松の枝や南天の実、椿の花、水引きなど接着剤でリースに貼り付けるなど細かな作業があり大変だったようでしたが、出来上がった作品に笑みを浮かべていましたので、令和6年はきっと皆さん笑いのある楽しい一年となることでしょう。最後に佐野さんから、「誰もが同じ速さで人生が進んでいるんだから人生を楽しまないと。楽しみを見つけ、楽しく過ごすことが大事ですよ。」との言葉をいただきました。



花巻市指定天然記念物の環境保全活動

平成28年4月より地域づくり交付金事業「七滝のおう穴維持管理事業」として天然記念物シラキ・七滝のおう穴保存会が当会から依頼を受け、毎年、七滝のおう穴敷地内の刈り払い作業や、通行の妨げや景観を損ねる樹木の伐木・倒木の除去作業に従事しています。今年は4月と6月に倒木の除去作業、6月と9月に刈り払い作業を行いました。地域にある史跡は地域で守って



いかなければなりませんね。保存会の皆さん毎年の作業ありがとうございます。

少子化問題について皆さんで考えてみよう



今年度の地域づくり交付金事業の一つとして「少子高齢化対策事業」があげられております。人口減少は地域に大きな影響を及ぼしており、さまざま店舗の閉店による生活関連サービスの縮小、公共交通機関の縮小や撤退、空き家や放棄された土地の増加、地域コミュニティの機能の低下など数え切れません。岸田総理は今年「異次元の少子化対策」を掲げ、その支援策として「経済的支援」、「子育てサービス」、「共働支援」、「非課税世帯給付などその他の支援」をあげています。では、地域として「地域に何が足りないのか」、「何をすればいいのか」、「出来ることは何なのか」などと皆さんも考えてみませんか。子どもたちが、この地域ですっと暮らしたいと思ってくれる場所を作り上げませんか。皆さんのご意見をお聞かせください。地域は地域の手で!!



老朽化に伴い保管倉庫を移動しました



現在借用している小山田郵便局となりの、石鳩岡・伊藤さん所有の旧小山田農協米倉庫の老朽化に伴い、昨年度、借用期間を5年度いっぱいとしていただきたいの申し出があり、今年度の総会で予算計画の承認をいただいております。地域づくり交付金事業で中古プレハブ(3060×2630×2060mm)を旧小山田小学校跡地に設置し、物品を移動・保管しました。収納スペースに限りがあるため、旧小山田小学校で使用されていた、ジェットヒーターやイス・ござ・こきりこ衣装などは大変申し訳ございませんが、産業廃棄物業者に依頼し処分をさせていただきました。

★市議会議員は、市民の意思を市政に反映させるため、市議会を構成し、市の予算や条例などの重要事項を審議し決定する機関です。



11月9日、小山田振興センターを会場に花巻市議会報告会「市民と議会との懇談会」が開催されました。内館桂副議長、櫻井肇議員、照井省三議員、佐々木精一議員の4名が来館し、市議会の仕組み、9月定例会の概要、常任委員会からの報告、政務活動費についての報告がありました。その後、当地区から出されていた案件についてお話をいただきました。1点目は人口減少と少子高齢化により今後地域としてどのような活動をしていけばいいのか、2点目はシカ・熊・猪などの有害獣による農作物等の被害対策について、3点目は水田活用(水田放牧)について、それぞれ市の考え方について説明がありました。その中で、人口減少と少子高齢化に伴う地域活動については、今、地域で何が困っているのか、対応出来ない事は何なのかなどを洗い出しをし、地域で出来る事、出来ない事の振分けをしながら考えてみる必要があるのではないかと話されておりました。



令和5年12月末現在

(): 前月比

小山田の人口	世帯数/戸	男/人	女/人	計/人
第1行政区	55 (0)	79 (0)	67 (-1)	146 (-1)
第2行政区	145 (1)	190 (2)	186 (3)	376 (5)
第3行政区	151 (0)	197 (0)	222 (0)	419 (0)
第4行政区	112 (0)	170 (0)	162 (-1)	332 (-1)
計	463 (1)	636 (2)	637 (1)	1,273 (3)

※花巻市住民登録人口集計表を基に作成しています



季節外れのタンポポ
(外谷地/2024.1.2撮影)

～ 編集後記 ～

今年は積雪も少なく穏やかな新年を迎え、今年一年良い年になりますようにと、家族で新年をお祝いしている最中での出来事でした。1日午後4時10分頃、石川県能登地方を震源とするマグニチュード7.6と推定される地震が発生し、石川・富山・新潟などで建物倒壊や火災が相次ぎ甚大な被害に見舞われ、また、大津波警報も2011年の東日本大震災以来の発令となりました。自然のはかり知れない力の強さと恐ろしさを改めて知らされた気持ちです。(菊池)



発行：明日の小山田を考える会 電話：0198-42-2941
ホームページ：http://www.asuno-oyamada.jp
メールアドレス：asuno-oyamada@tuba.ocn.ne.jp